

土曜

SATURDAY

ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣

医

の

カ

ル

テ



52



高島獣医科

富山東病院長

(富山市水橋小出)

今野 浩明

県内ではコロナ禍に加え、新年早々から大雪に見舞われ、自宅での生活を強いられた方も多かったのではないだろうか。ペットと過ごす時間が増えているこの時期に、あらためて健康チェックを試みましょう。

今回は寒くなると増える、ぼうこう炎について話したいと思います。冬に増える理由として、飲水量減に伴う尿量の減少や、散歩の回数や時間が減り、尿を我慢することなどが原因と考えられます。運動不足によるストレスも関係があると思われます。

特に、オスの猫のぼうこう炎は

冬に多いぼうこう炎



大小さまざまな結石

要注意です。①いつもよりトイレに行く回数が多い②トイレ以外のところでおしっこをしてしまう③長い時間トイレに座っている④トイレで痛がって鳴いている―といった症状があれば、すぐに獣医を受診することを勧めます。

道がなくて短く、外から細菌が侵入しやすいため、細菌性ぼうこう炎にかかりやすい傾向にあります。先に述べた症状以外に、おしっこが匂う、色がおかしい(血尿)などが危険信号です。雪の上で尿に気付くことがあります。もう一つの原因は尿路結石によるものです。体質もありますが、

おやつをたくさんあげていた、フード自体が合わなかったりするケースもあります。最近ではカルシウム性の結石が多く、乳製品や野菜が原因となることもあります。写真にあるように、さまざまな結石ができます。フードの見直しが必要ですが多いですが、まずは小まめに新鮮な水を飲めるようにしたり、ドラ

原因は細菌感染と結石

普段の食生活が起因していることが多いのではないだろうか。食べ物や原因でぼうこうに細かい結石ができ、尿道に詰まってしまったりおしっこが出なくなります。

オスの犬は尿道先端部に陰茎骨という骨があり、尿道が狭く拡張しないため、小さな結石が引っ掛かり、オスの猫と同様におしっこが出なくなりがちです。

フードをふやかしたり、ウェットフードをあげたりして、積極的に飲水量を増やしてみたいかがでしょうか。

寒い日が続き、外で飼っている高齢の犬や心疾患を抱えている犬には注意が必要です。よく外に出る猫も、大雪で家に帰れなくなるなどがあるので気を付けてください。